健康診断に関わる取り組み

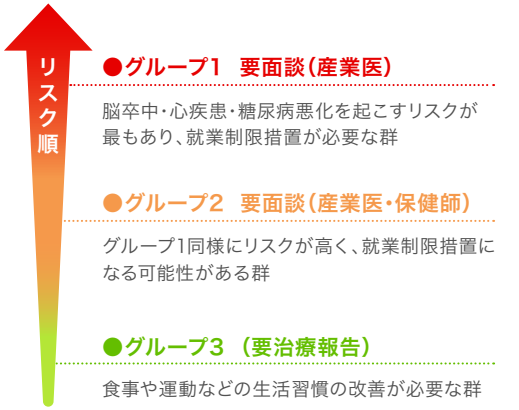
従業員一人ひとりが、より健康で生産性が高い状態で働ける職場にするためには周囲のサポートが不可欠であると考えています。そのため「健康アンバサダー」を各エリア・部署に配置し、周囲の従業員へ健康情報や施策の周知を担ってもらい、食事や運動など生活習慣の改善や健診受診、面談などを気兼ねなく実施できる環境づくりを進めています。また各部署の責任者に週次の健診予約状況などの必要な情報を提供することで、従業員がスピーディーに対応できるようにサポートしています。こうした取り組みを継続することで、健診受診、再受診報告の完了時期も年々前倒しとなっています。

健診事後措置対応

健診事後措置は、健康診断結果で要医療の数値がある従業員を対象に、早期の医療介入・治療開始をサポートすることを目的に取り組んでいます。その結果、従業員の再受診報告も毎年100%を達成しています。ローソンでは、健康リスクが高い順に階層を3段階設けており、リスクに応じて治療が早急に開始できるよう人事本部や職場と連携を図りながら、従業員の健康をサポートしています。

また、2024年度よりローソン健康保険組合と事業主が積極的に連携し、従業員の疾病予防・健康づくりを効果的かつ効率的に実施することを目的に役割分担を明確にしました。健診事後対応により医療機関につながり治療開始となっても、様々な理由により中断してしまい健康状態が悪化する従業員がいることが課題としてありました。そこで医療中断を防止することを目標に、ローソン健康保険組合の強みであるレセプト情報から医療中断していないか確認する等、途切れないサポート体制強化を開始しています。この取り組みにより、一人でも多くの従業員が心身ともに健康でパフォーマンスを最大限発揮できる状態になれるよう注力してまいります。

当社が設定するハイリスク者区分



コラボヘルスによるサポート体制

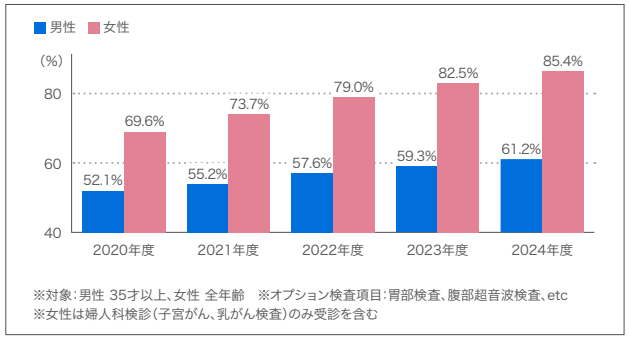
オプション検査（がん検診）の受診率向上

定期健診受診時にオプション検査（がん検診）を追加して受診できるようにし、受診の必要性や検査方法について詳しく周知する取り組みを継続しています。

男女ともに受診率は伸長傾向にあります。特に女性は2020年度から全年齢において、婦人科検診を無償化するなど取り組みを強化し、2024年度にはついに85%を超えました。

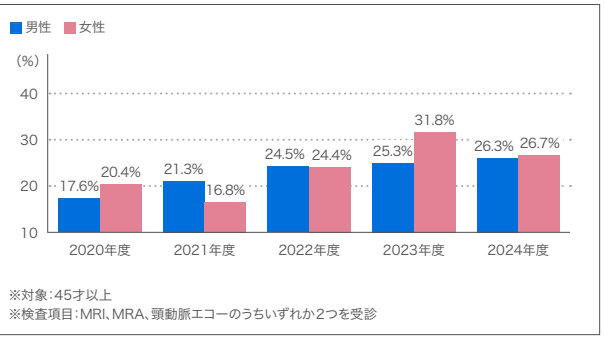
また、脳検査の受診率も男女ともに25%以上と高い水準で推移しています。

■オプション検査（がん検診）受診率



※対象：男性 35才以上、女性 全年齢　※オプション検査項目：胃部検査、腹部超音波検査、etc
※女性は婦人科検診（子宮がん、乳がん検査）のみ受診を含む

■脳検査受診率



※対象：45才以上
※検査項目：MRI、MRA、頸動脈エコーのうちいずれか2つを受診